

2025年度1Q実績

2025年7月31日

決算ハイライト

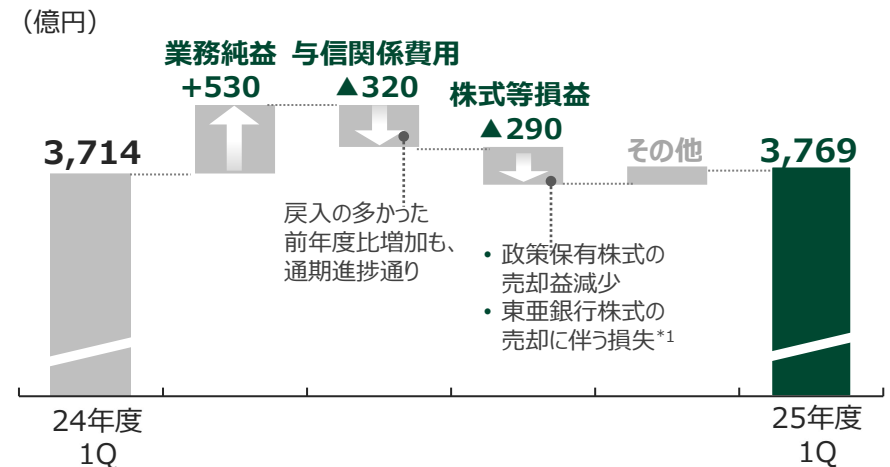
- ◆ 年間業績予想に対する進捗率は、連結業務純益・親会社株主純利益ともに29%と順調な滑り出し
- ◆ 想定していた米国の関税措置を端緒とするマイナス影響1,000億円は、現時点ではほとんど顕在化せず

連結業務純益



RT	Olive効果で預金増加、金利上昇もあり預金収益拡大
WS	貸出金は大企業でYoY+18%成長、非金利も拡大
GB	採算重視の運営により預貸金収益増加、非金利も好調
GM	4月の相場急変で苦戦するも、5月以降は回復

親会社株主純利益



想定していた関税影響

		当初想定	計画・関税影響	25/6末
金利	JGB10年 (%)	1.5	1.3	1.43
為替	1ドル (円)	145	140	▲625
株価	日経平均 (円)	41,000	37,000	▲4,000
ビジネス	資産運用・国内WS・マルチフランチャイズ			▲375
ボトムライン利益				▲1,000 億円

*1 持分を一部売却し外部会社化、売却損は税前▲280

	(億円)	25年度 1Q	前年 同期比	25年度 目標
1 連結粗利益		10,878	+579	
2 営業経費 (経費率)		▲5,997 55.1%	▲73 △2.4%	
3 持分法投資損益	進捗率	562	+248	
4 連結業務純益	29%	5,443	+755	18,500
5 与信関係費用		▲756	▲464	▲3,000
6 株式等損益		411	▲413	
7 その他		▲264	▲253	
8 経常利益		4,833	▲376	18,000
9 特別損益		▲18	+9	
10 税コスト		▲1,022	△426	
11 親会社株主純利益	29%	3,769	+55	13,000
12 東証基準ROE		10.4%	+0.3%	
13 株主資本ROE		13.6%	▲0.2%	

- **連結粗利益** (為替影響*1:▲440)
国内における預貸金収益の増加に加え、
決済ファイナンスビジネスの好調、
国内ホールセールビジネスの手数料収入増加等により増益
- **営業経費** (為替影響*1:△200)
インフレ影響や売上連動費等により微増するも、
トップラインの伸長により、経費率は大幅に改善
- **持分法投資損益** (為替影響*1:▲40)
SMBCACにおける保険金受領(130)に加え、
東亜銀行の外部会社化に伴う利益の取込により増加
- **与信関係費用**
戻入の大きかった前年同期比増加するも、
通期予想に対しては標準進捗通りに推移
- **株式等損益**
政策保有株式の売却益減少(600、YoY▲230)および
東亜銀行株式の売却に伴う損失計上(▲280)により減少

*1 BC海外支店PL(取引日レート)・海外現法PL(期末日レート)等の為替変動影響

(参考) 主要グループ会社の業績

SMBC

	(億円)	25年度 1Q	前年 同期比	25年度 目標
1 業務粗利益		5,785	+590	
2 うち資金利益		4,161	+977	
3 うち投資信託解約損益		192	▲26	
4 国内		2,546	+746	
5 海外		1,614	+231	
6 うち役務取引等利益		1,317	+42	
7 国内		550	▲36	
8 海外		766	+78	
9 うち特定取引利益 +その他業務利益		297	▲432	
10 うち国債等債券損益		144	+44	
11 経費		▲2,719	▲46	
12 業務純益		3,066	+544	10,900
13 与信関係費用		▲54	▲345	▲600
14 株式等損益		595	▲226	
15 その他臨時損益		▲223	▲311	
16 当期純利益		2,536	▲79	9,900

SMBC以外の主要グループ会社

(左：25年度1Q実績、右：前年同期比)

(億円)	SMBC日興 ^{*1}	SMCC ^{*2}	SMBC信託
業務粗利益	1,228 ▲61	2,136 +118	174 +26
経費	▲1,050 △5	▲1,561 ▲177	▲109 ▲8
業務純益	178 ▲56	605 +7	64 +18
当期純利益	196 ▲4	322 +167 ^{*3}	61 +27

(持分法適用)

	SMDAM	50%	SMFL ^{*4}	50%
業務粗利益	103 +2	969 +115		
経費	▲79 ▲0	▲429 ▲100		
業務純益	24 +2	568 +8		
当期純利益	8 +0	413 +83		

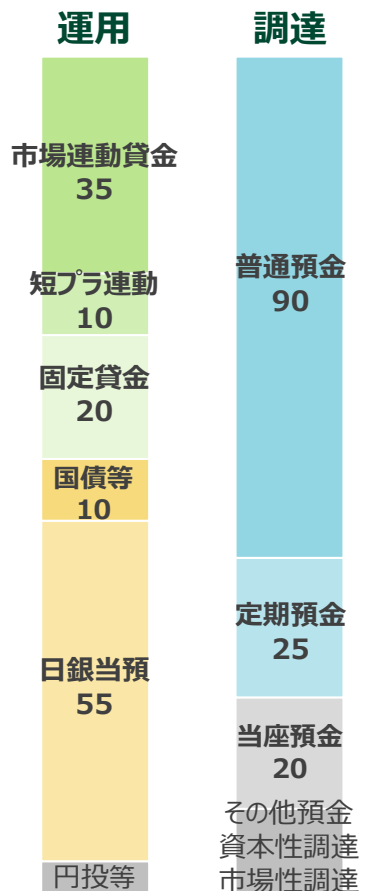
*1 SMBC日興アメリカおよびSMBC Capital Marketsの利益を含む内部管理ベース

*2 SMBCCFの計数を含む *3 SMBCFCSとの合併に係る抱合せ株式消滅差益を除いた数字 *4 内部管理ベース

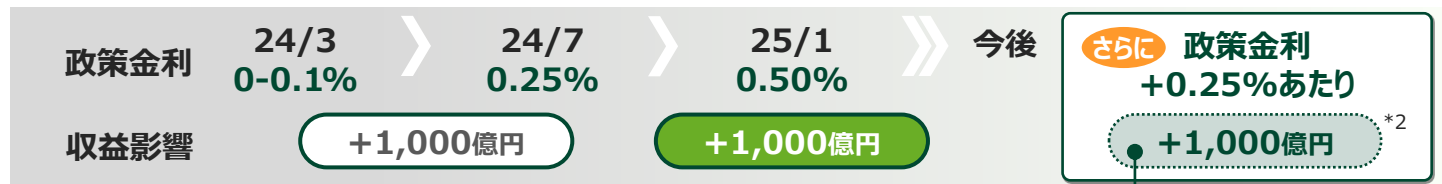
円金利上昇影響は、期初には▲200億円の下振れを予想していたものの、足元の長期金利上昇により、試算通り+2,000億円（前年比+1,100億円）となる可能性も高い（1Q：+400億円）

円貨B/S 140兆円*1

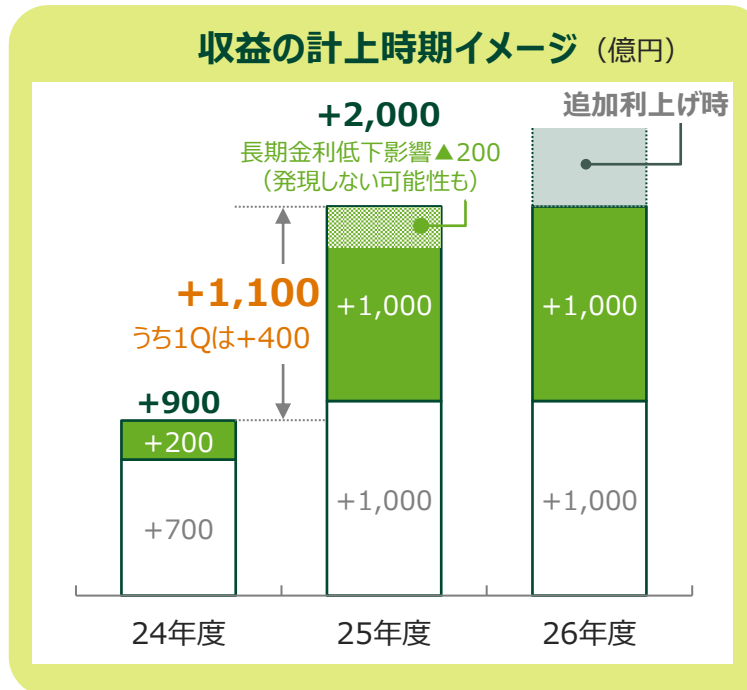
(兆円)



資金利益への影響 (バランスシート不変の前提)



収益の計上時期イメージ (億円)



試算の前提			
市場連動貸金	+25bps	普通預金	+10bps
短プラ連動	+25bps	定期預金	+15bps
固定貸金	+25bps		
国債	+25bps		
日銀当預	+25bps		

環境も注視しつつ、
国債のポジションを徐々に構築

*1 25/6末 *2 長期・短期金利ともに+25bpsずつ上昇の想定

資金利益は、国内貸出金の残高増加・利回り改善や政策金利上昇により増加

特定取引+その他業務利益は、4月の相場急変時にトレーディングで苦戦したことを主因に減少

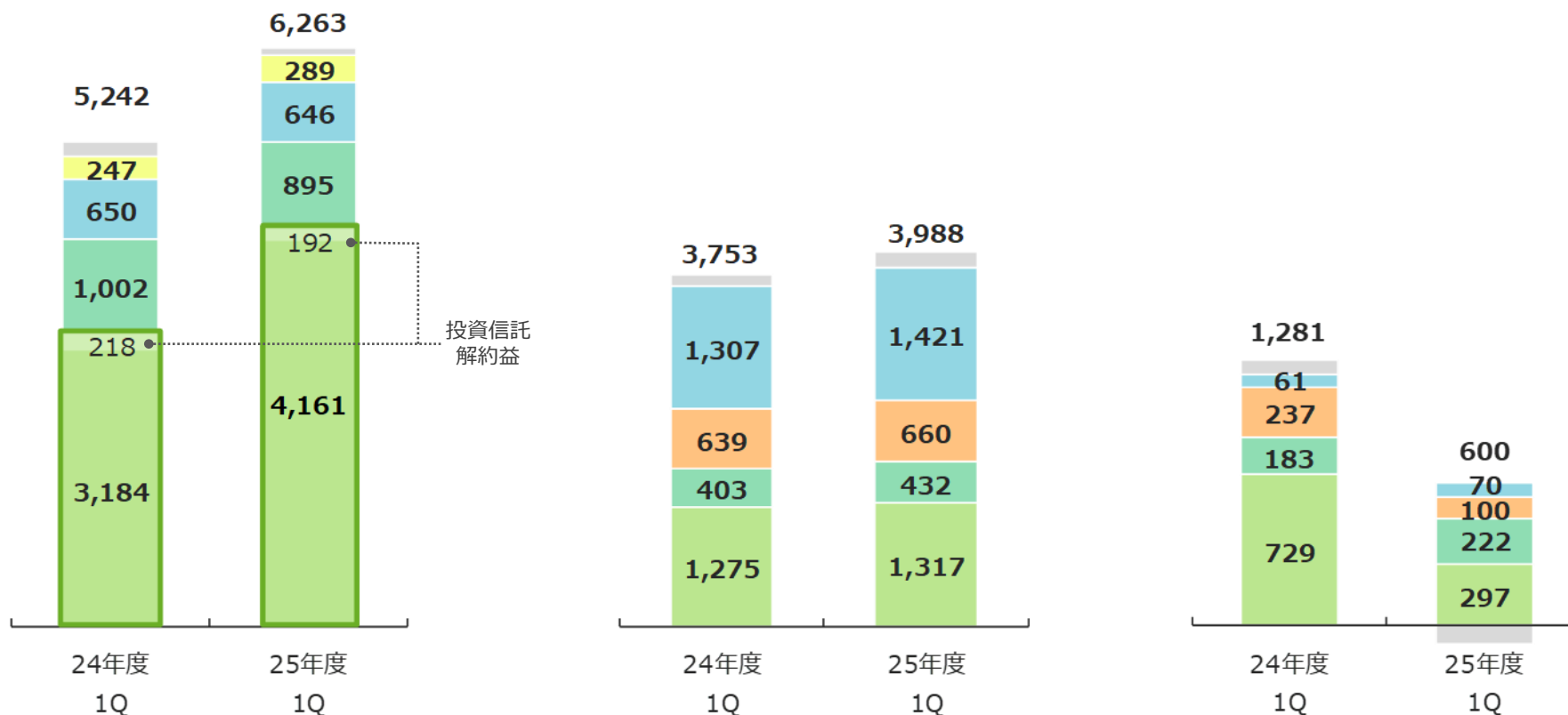
資金利益

役務取引等利益

特定取引+その他業務利益

(億円)

■ SMBC ■ 海外銀行現法 ■ SMBC日興 ■ SMCC*1 ■ SMICC ■ その他

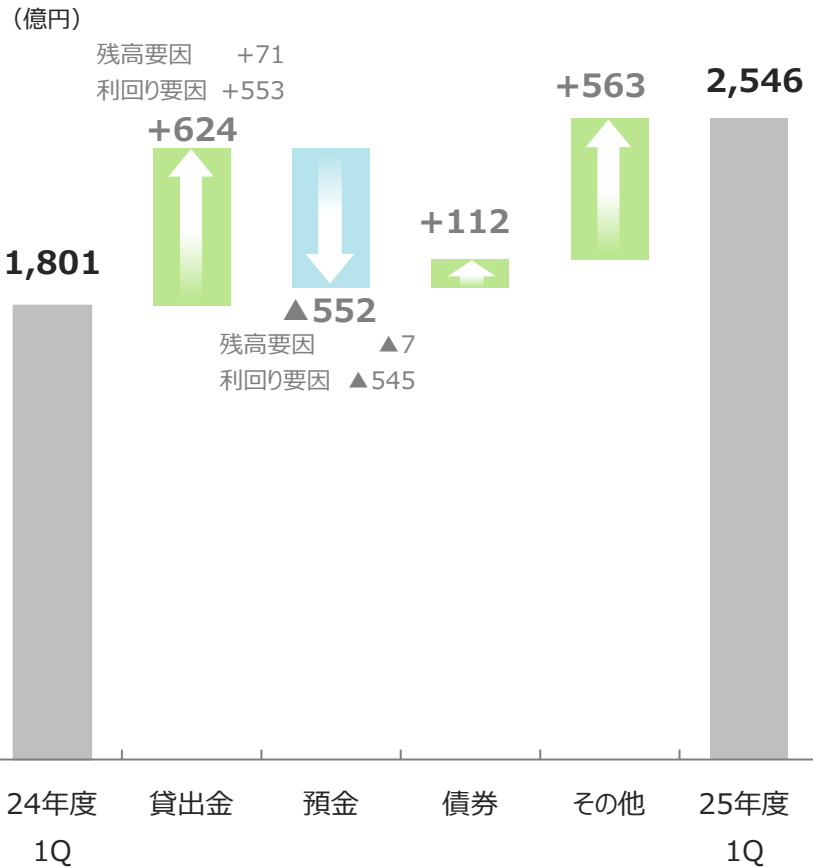


*1 SMCCCFの計数を含む

(参考) 資金利益の増減要因 (BC単体)

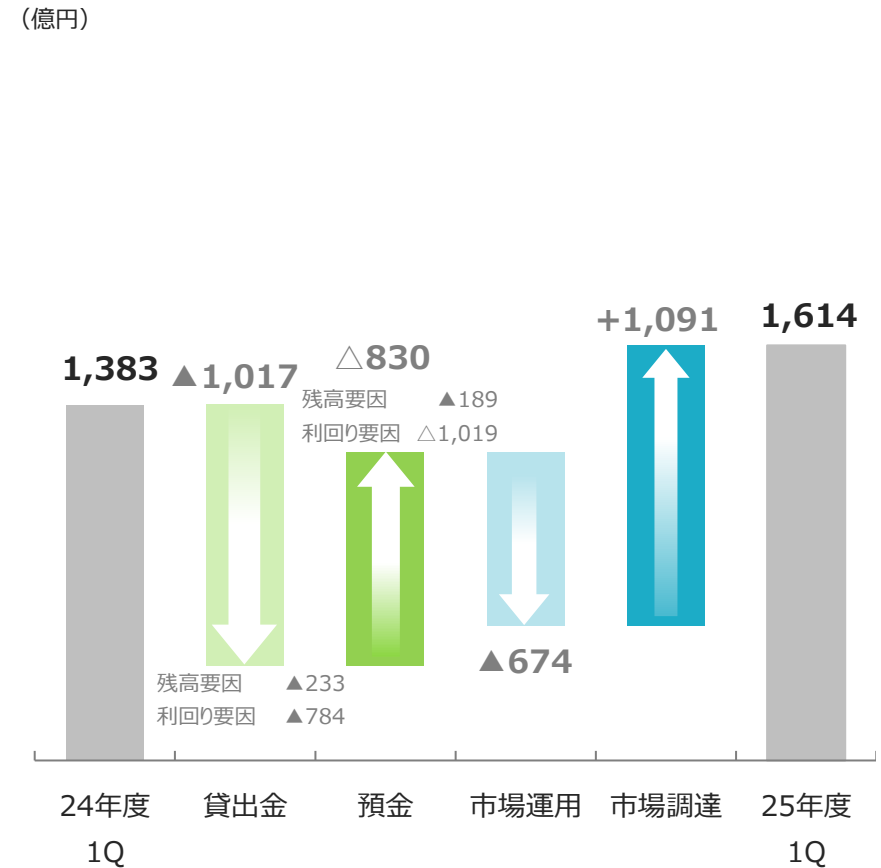
国内

- 貸出金残高の増加を主因に預貸金収益は前年比プラス
- 市場金利上昇により、債券・その他収益も増加

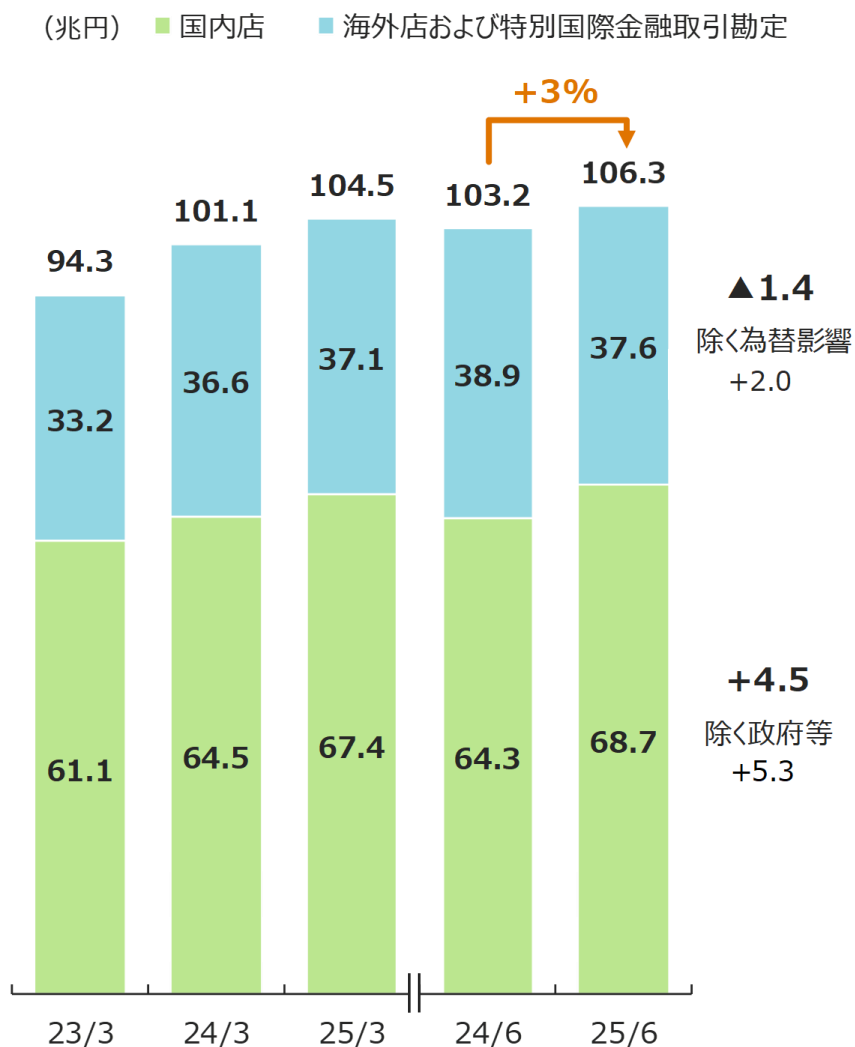


海外

- 貸出残高は外貨建では増加も、為替影響で円建換算は減少
欧米での利下げ影響もあり、預貸金収益はマイナス



貸出金残高



国内預貸金利回差

(%)	25年度		24年度			
	1Q	前年同期比	1Q	2Q	3Q	4Q
貸出金利回	1.26	+0.34	0.92	0.97	1.04	1.15
預金等利回	0.18	▲0.17	0.01	0.05	0.09	0.10
預貸金利回差	1.08	+0.17	0.91	0.92	0.95	1.05

(参考) 政府等向け貸出金控除後

貸出金利回	1.27	+0.33	0.94	0.99	1.07	1.16
預貸金利回差	1.09	+0.16	0.93	0.94	0.98	1.06

期中平均貸出金残高・スプレッド*2

	平均残高 (兆円)		スプレッド (%)	
	25年度 1Q	前年 同期比*4	25年度 1Q	前年 同期比
国内貸出	64.7	+2.6	0.68	▲0.01
除く政府等・SMFG向け	62.3	+3.2	0.69	▲0.02
うち大企業	24.4	+1.8	0.56	▲0.03
中堅・中小企業	22.5	+1.2	0.67	+0.02
個人	12.2	+0.1	1.15	▲0.01
GB運用資産 (億ドル) *3	3,663	+211	1.42	+0.12

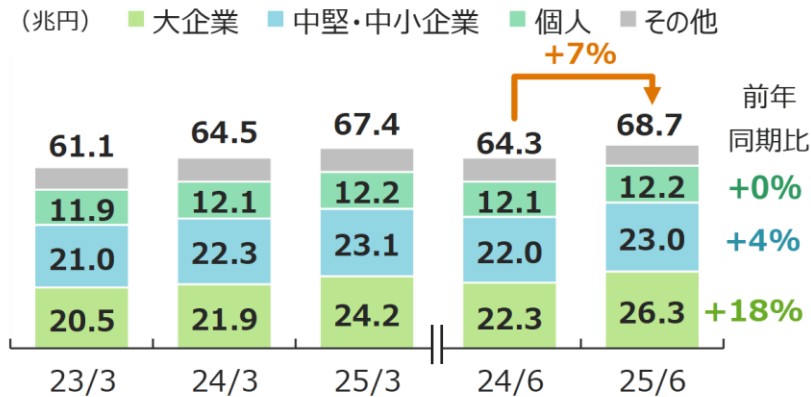
*1 BC単体 *2 内部管理ベース

*3 SMBC、主要現地法人、SMBC信託等の合算。貸出金・貿易手形・有価証券の合計。資金コスト対比のスプレッドを記載

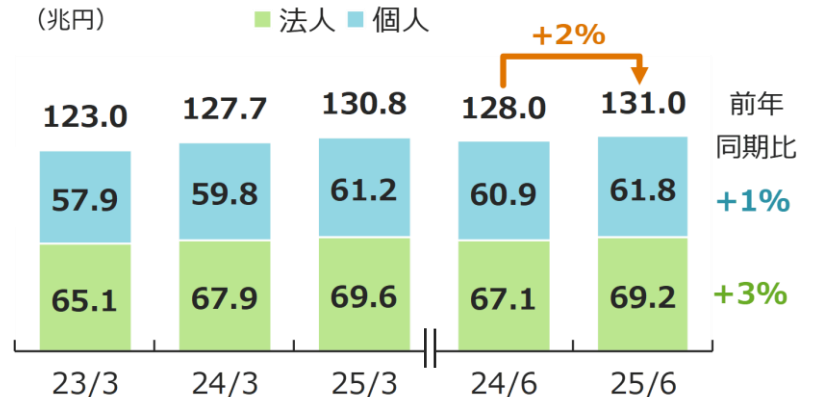
*4 為替影響等調整後ベース

活発な資金需要を捉え貸出金残高は堅調に推移、特に、大企業は大口案件の捕捉もあり大幅に増加
スプレッドは、特に大企業でM&Aのブリッジローンが集中したことから低下するも、採算性重視の運営は継続

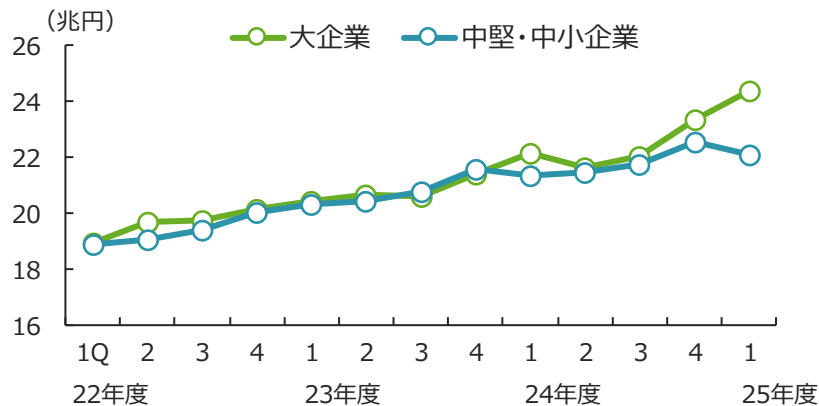
貸出金残高*2



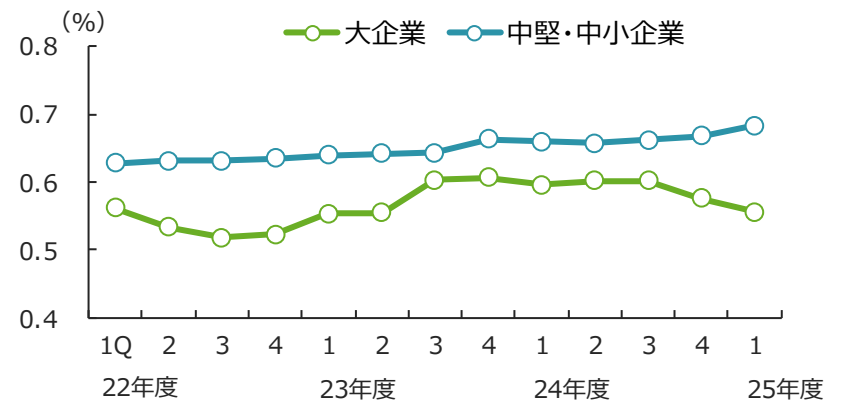
預金残高



法人向け平均貸出金残高*2,3



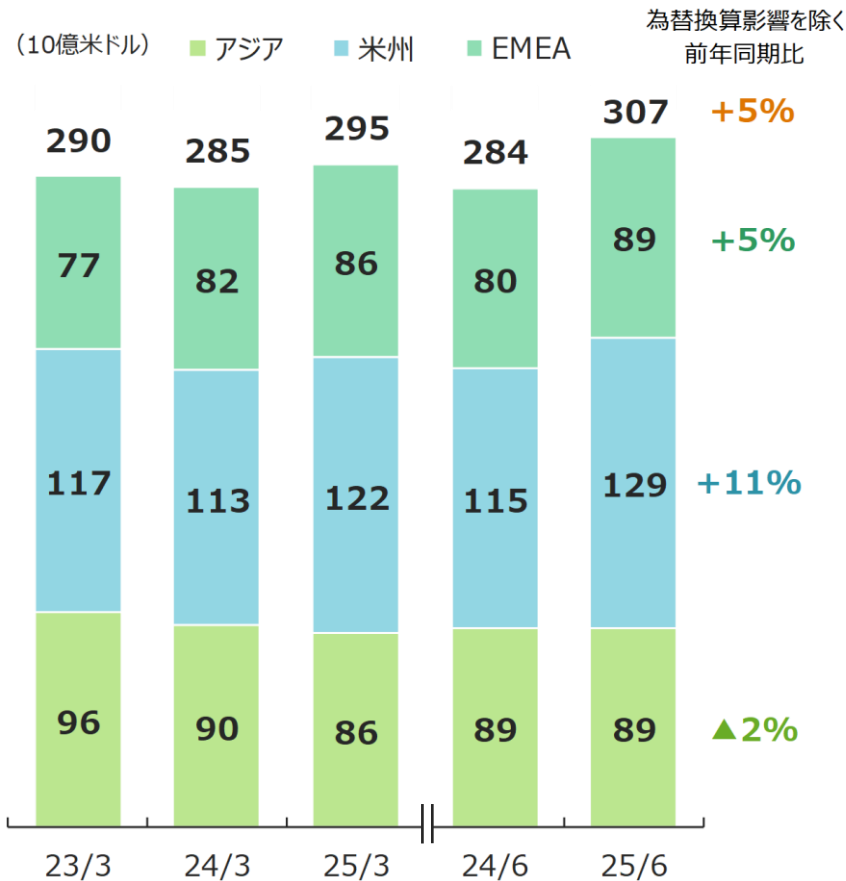
法人向け貸出金スプレッド*2,4



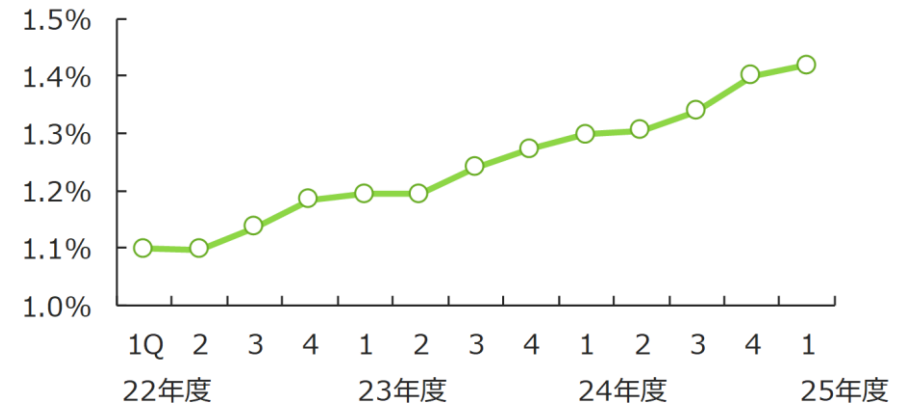
*1 BC単体 *2 内部管理ベース *3 四半期平残、政府向け等を除く。中堅・中小企業はエリア企業向けを除く
*4 ストックベース、政府向け等を除く

米州を中心に活発な資金需要を捕捉し残高は増加
また、採算を意識して選別的に案件に取り組みスプレッドも上昇

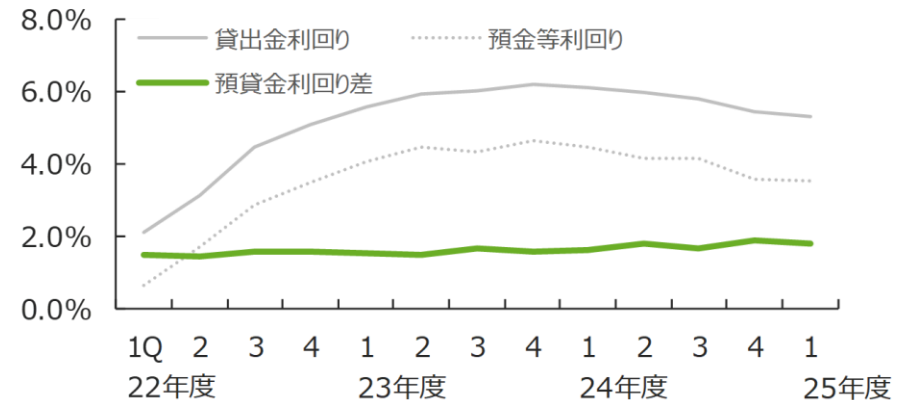
貸出金残高



貸出金スプレッド*2,3

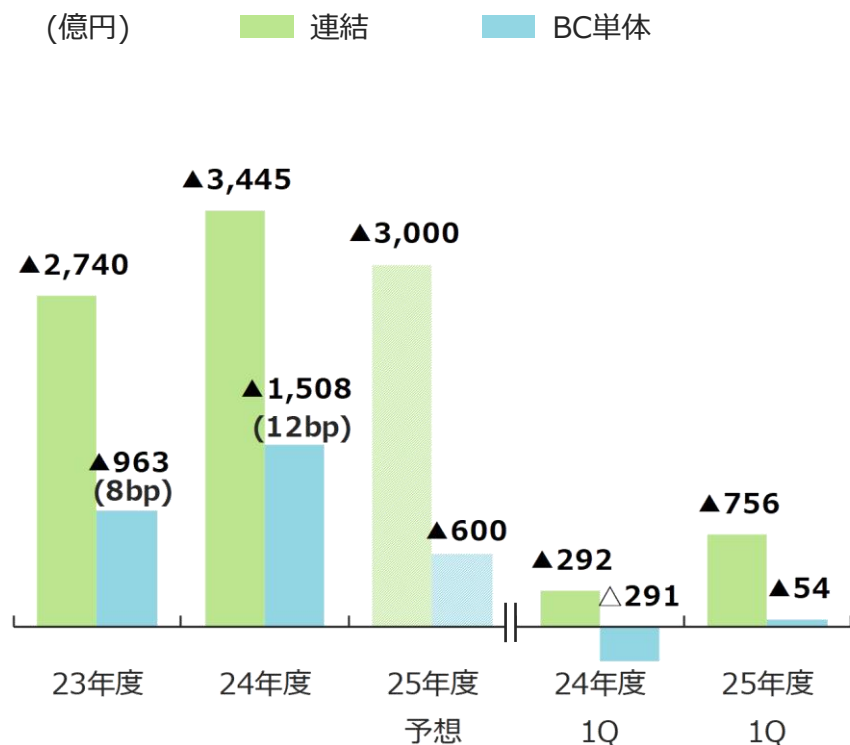


預貸金利回り差



*1 内部管理ベース。SMBCと主要現地法人の合算 *2 ストックベース
*3 24年度より集計方法の変更、遡及反映を実施

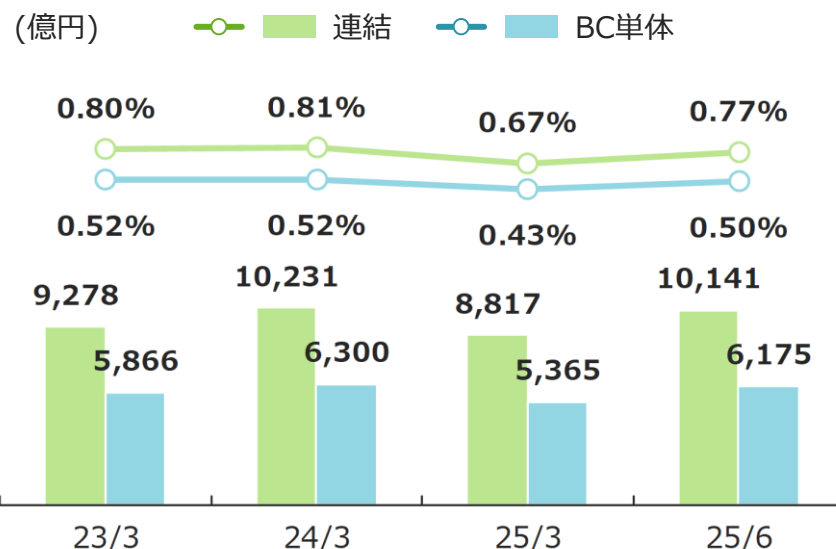
与信関係費用



連単差の主な内訳 (概数)

(億円)	25年度1Q	前年同期比
SMCC	▲ 350	△ 30
うちSMBCCF	▲ 200	△ 30
海外銀行現法	▲ 210	▲ 100
SMICC	▲ 120	▲ 30

不良債権比率*1・残高



不良債権内訳 (連結) *2

	23/3	24/3	25/3
国内	6,511	4,554	4,616
アジア	2,099	1,749	2,819
米州	845	1,175	1,320
EMEA	776	1,339	1,388

その他要注意先 (除く要管理債権)

	23/3	24/3	25/3
BC単体	1.8	1.7	1.6

総与信未残

	23/3	24/3	25/3
連結	126	131	132
BC単体	120	123	124

*1 不良債権比率 = 銀行法および再生法に基づく債権残高 (除く正常債権) / 総与信

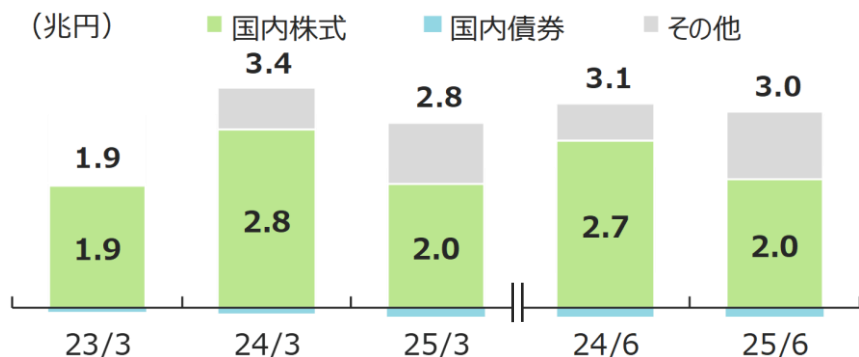
*2 内部管理ベース

■ その他有価証券の内訳（連結）

(億円)	残高		評価損益	
	25/6末	25/3末比	25/6末	25/3末比
満期保有目的	6,317	+3,573	▲28	+34
その他有価証券	383,286	▲14,481	29,882	+1,821
国内株式	31,007	+555	20,349	+739
国内債券	115,211	▲23,724	▲1,348	+100
うち国債	89,059	▲22,746	▲497	+27
その他	237,069	+8,688	10,881 ^{*1}	+982
うち外債	186,564	+12,316	▲3,704	+787

ヘッジ取引も活用し、リスク量はコントロール

■ 評価損益の推移

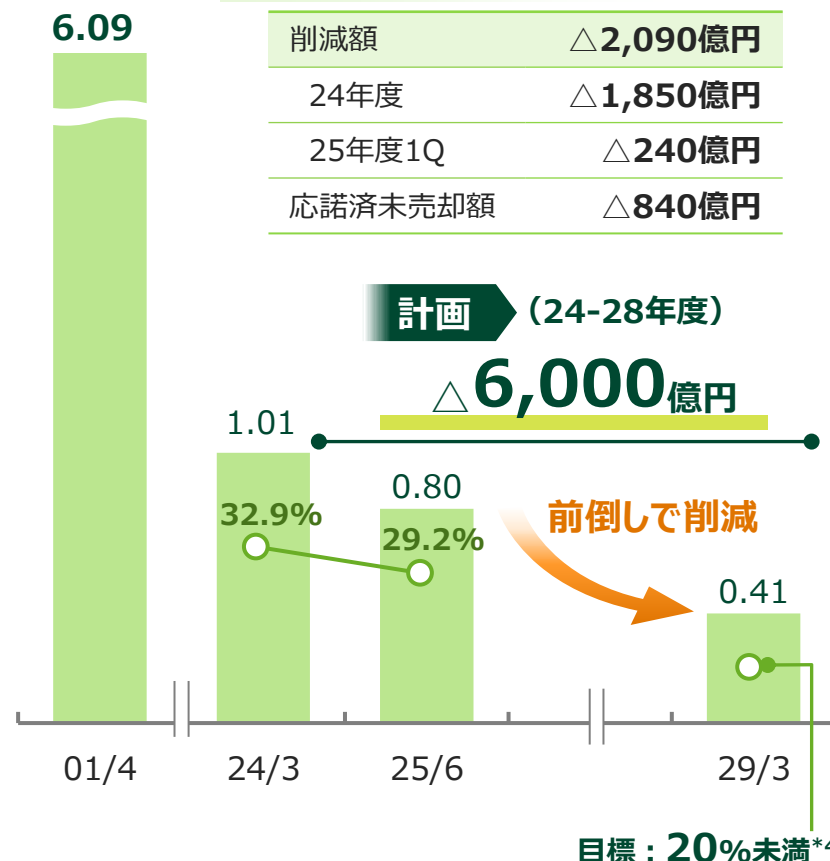


■ 政策保有株式

(兆円) ■ 国内上場株式簿価^{*2}
● 政策保有株式時価残高^{*3} ÷ 連結純資産

削減状況

削減額	△2,090億円
24年度	△1,850億円
25年度1Q	△240億円
応諾済未売却額	△840億円



*1 外国債券との差額は外国株式等

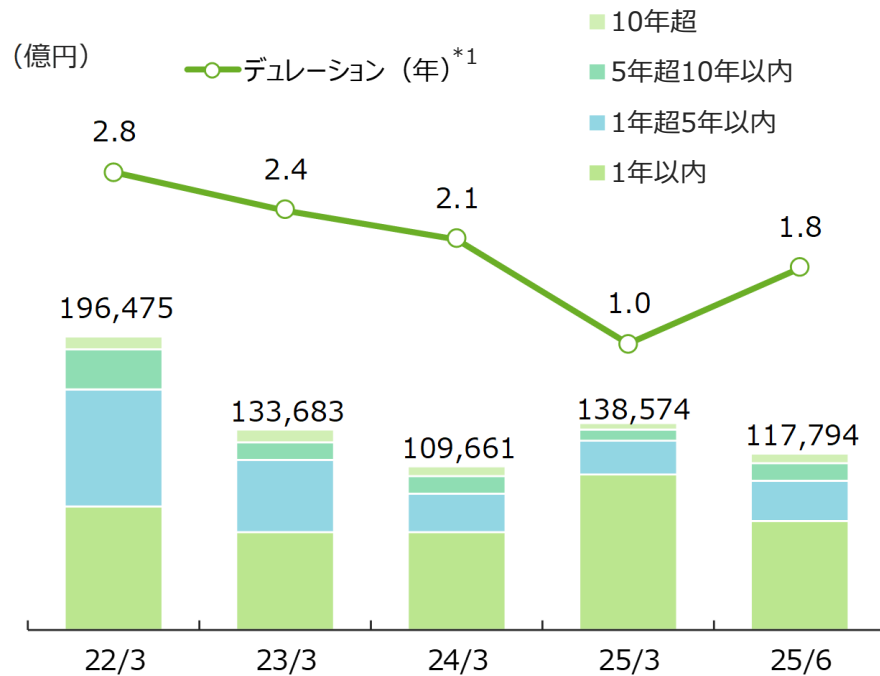
*2 20/3末以降の業務提携目的の出資を除く *3 有価証券報告書に記載される「みなし保有株式」の残高を含む

*4 25/3末の日経平均株価@35,618円の前では16%程度

有価証券②

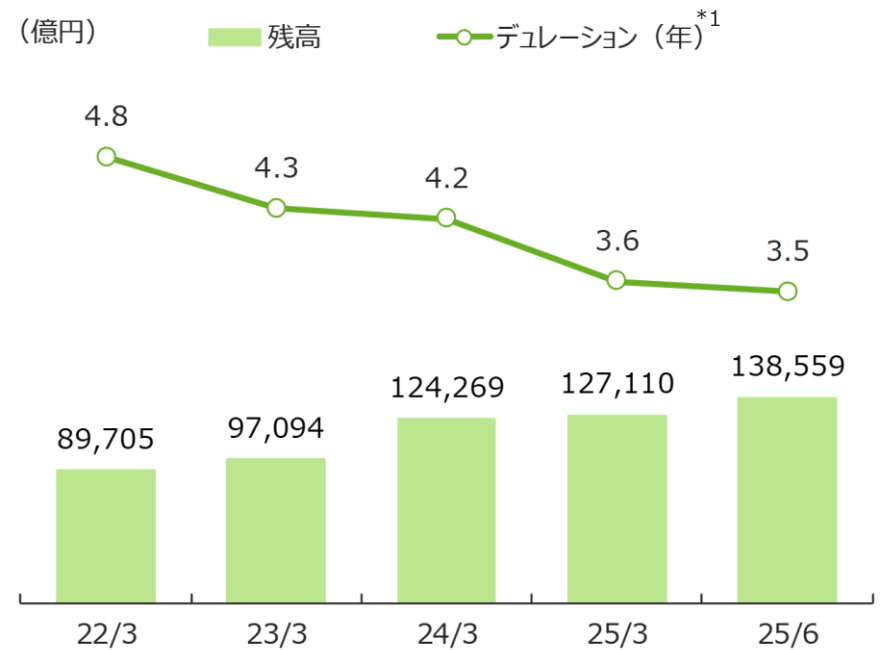
円債は、足元の長期金利上昇を受けてポジションを一部入れ替え
満期保有の活用により、安定した金利収入の獲得も目指す

円債（BC単体）



評価損益	▲ 628	▲ 987	▲ 1,421	▲ 1,302
満期保有残高	223	223	223	3,196
JGB残高	95,763	75,474	111,805	89,059

外債（BC単体）



評価損益	▲ 6,171	▲ 6,622	▲ 4,589	▲ 3,927
------	---------	---------	---------	---------

*1 内部管理ベース。ヘッジ会計適用分・満期保有分を除く、私募債を含まず

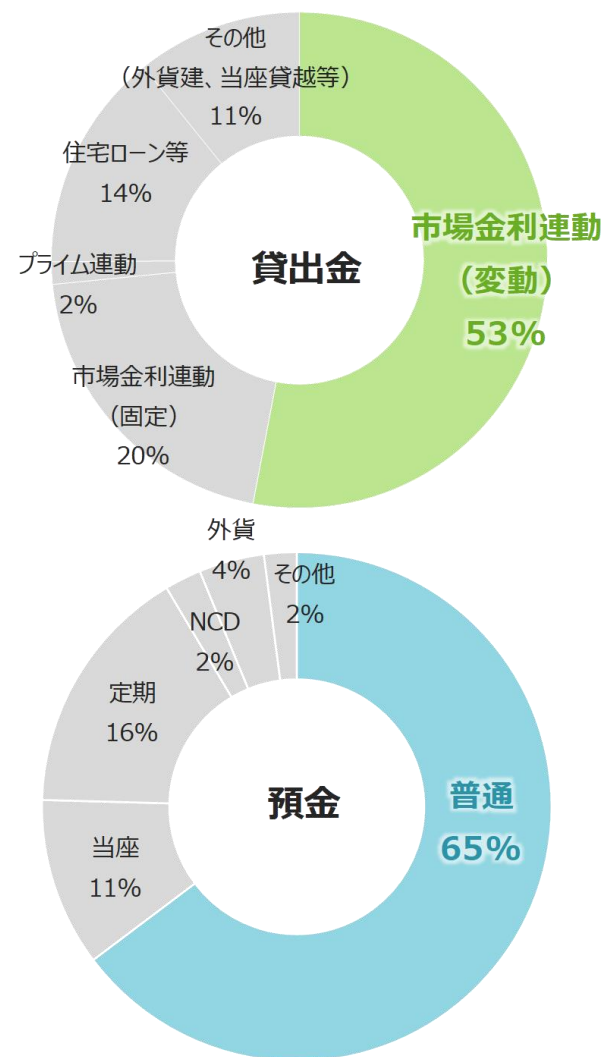
連結B/S

() 内は25/3末比

<p style="text-align: center;">貸出金</p> <p style="text-align: center;">112.7兆円 (+1.6兆円)</p> <p style="text-align: center;">国内貸出金*1 68.7兆円</p>	<p style="text-align: center;">預金</p> <p style="text-align: center;">185.8兆円 (▲2.9兆円)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black;">預貸率 60.7%</p>								
<p style="text-align: center;">有価証券</p> <p style="text-align: center;">39.3兆円 (▲1.5兆円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>国債</td> <td>8.9兆円</td> </tr> <tr> <td>外国債券</td> <td>18.7兆円</td> </tr> </table>	国債	8.9兆円	外国債券	18.7兆円	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>国内預金*1</td> <td>131.0兆円</td> </tr> <tr> <td>譲渡性預金 (NCD)</td> <td>15.2兆円</td> </tr> </table>	国内預金*1	131.0兆円	譲渡性預金 (NCD)	15.2兆円
国債	8.9兆円								
外国債券	18.7兆円								
国内預金*1	131.0兆円								
譲渡性預金 (NCD)	15.2兆円								
<p style="text-align: center;">その他</p> <p style="text-align: center;">146.9兆円 (▲7.5兆円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>現預金</td> <td>72.3兆円</td> </tr> <tr> <td>日銀当座預金*1</td> <td>53.8兆円</td> </tr> </table>	現預金	72.3兆円	日銀当座預金*1	53.8兆円	<p style="text-align: center;">その他</p> <p style="text-align: center;">98.5兆円 (▲4.3兆円)</p>				
現預金	72.3兆円								
日銀当座預金*1	53.8兆円								
	<p style="text-align: center;">純資産</p> <p style="text-align: center;">14.6兆円 (▲0.2兆円)</p>								

総資産 298.9兆円 (▲7.4兆円)

預貸金の構成比 (BC単体) *2



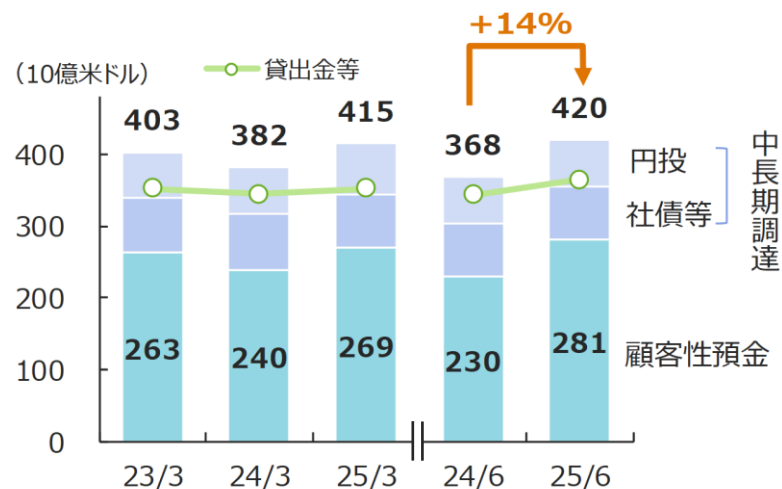
外貨B/S *1,2

(10億米ドル、()内は25/3末比)

貸出金	顧客性預金 (含む中銀預金)
365 (+13)	281 (+12)
その他	中長期調達 (社債、円投等)
172 (▲18)	139 (▲7)
外債、NCD	CD/CP
103 (+12)	98 (▲1)
	インターバンク (含むレポ)
	123 (+3)

資産・負債 640 (+7)

外貨ファンディング



(参考) 外貨金利の変動影響

預貸金

- 貸出金・預金とも、大宗は基準金利連動
- 一部、金利感応度の低い流動性預金によって外貨金利±1.0%で資金利益±200億円

事業部門別実績①

■ リテール

- 金利上昇に伴う預金収益増加と好調な決済ファイナンスビジネスにより業務粗利益・業務純益ともに増加
- 期初の関税影響や株価下落で資産運用ビジネスは減益となるも、足元では回復

(億円)	25年度 1Q	前年 同期比*1
業務粗利益	3,549	+270
預貸金収益*2	589	+288
資産運用ビジネス	816	▲ 27
決済ビジネス	1,385	+28
コンシューマーファイナンス	776	+32
経費	▲ 2,807	▲ 154
(経費率)	79.1%	△1.8%
業務純益	745	+120

	24年度	25年度 1Q	中計目標
AM・外貨残高 (兆円)	18.8	19.7	21
コンシューマーファイナンス残高 (兆円)	2.8	2.9	3
Olive獲得件数	25/7 : 600万件突破		

■ ホールセール

- 貸出金増加と預貸金利回り差改善により預貸金収益は大幅に増加、コーポレートアクションの活発化により手数料収益も増加
- 証券ビジネスも好調で、業務粗利益・業務純益ともに増益

(億円)	25年度 1Q	前年 同期比*1
業務粗利益	2,775	+530
預貸金収益	1,396	+430
外為・為替手数料	378	▲ 3
SMBC シンジケーション	112	+16
ストラクチャードファイナンス	118	+14
不動産ファイナンス	52	+16
証券	216	+46
経費	▲ 952	△ 13
(経費率)	34.3%	△8.7%
業務純益	2,193	+558

	24年度	25年度 1Q	中計目標
スタートアップ向け投融資 (累計・億円)	1,851	2,109	1,350

*1 内部管理ベース (為替影響等調整後) *2 コンシューマーファイナンスを除く

事業部門別実績②

■ グローバル

- 貸出需要が堅調に推移する中、選別的に案件に取り組んだ結果、預貸金収益・ローン関連手数料ともに増加
- SMBCACの保険金受領により持分法損益も増加し、業務純益は増益

(億円)	25年度 1Q	前年 同期比 ^{*1}
業務粗利益	3,590	+393
預貸金収益	1,771	+125
ローン関連手数料	663	+82
証券	236	+22
経費	▲ 2,324	▲ 114
(経費率)	64.7%	△4.4%
持分法投資損益	521	+294
業務純益	1,847	+576

	24年度	25年度 1Q	中計目標
米州本部業務純益 (百万米ドル)	1,653	436	+500

■ 市場

- ボラティルな環境の中、機動的なポートフォリオ運営によりリスク量をコントロールし、着実にバンキング収益を蓄積
- 4月の相場急変時にトレーディングで苦戦したことにより、業務粗利益・業務純益ともに減少

(億円)	25年度 1Q	前年 同期比 ^{*1}
業務粗利益	1,566	▲ 100
SMBC	1,113	+55
SMBC日興	253	▲145
経費	▲ 503	▲ 26
(経費率)	32.1%	▲3.5%
業務純益	1,149	▲ 119

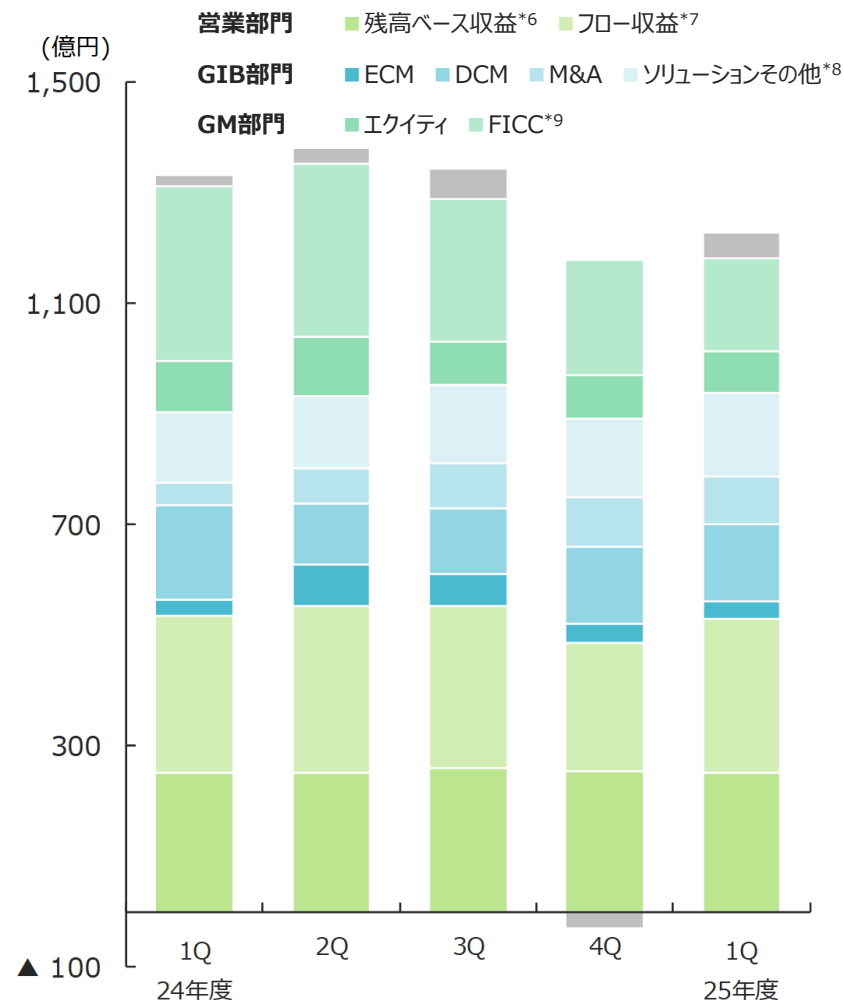
	24年度	25年度 1Q	中計目標
海外証券業務純益 (億円)	258	80	490

*1 内部管理ベース (為替影響等調整後)

業績

(億円)	24年度	25年度 1Q	前年 同期比
純営業収益	5,210	1,227	▲104
販売費・一般管理費	▲4,352	▲1,049	▲37
営業利益	857	177	▲68
うち営業部門	300	105	+25
GIB部門*3	308	113	+57
GM部門*4	250	▲58	▲179
経常利益	910	206	▲68
当期純利益	733	196	▲4
預り資産残高*5 (兆円)	81.1	84.4	

純営業収益



*1 SMBC日興アメリカおよびSMBC Capital Marketsなどの利益を含む内部管理ベース

*2 2025年度より海外におけるデリバティブ事業の集計定義を変更、遡及反映を実施

*3 グローバル・インベストメント・バンキング部門 *4 グローバル・マーケット部門 *5 SMBC日興単体

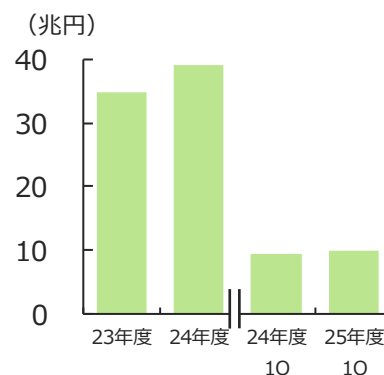
*6 投資信託・保険の代行手数料、FW報酬等 *7 株式委託手数料等

*8 バランスシートやデリバティブを活用したソリューションビジネス等 *9 Fixed Income, Currency and Commodities

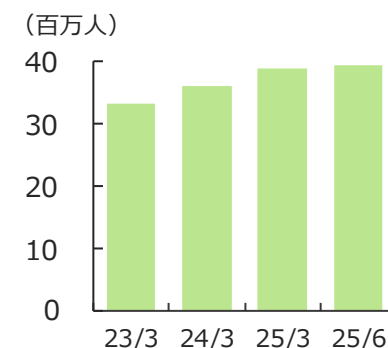
業績

(億円)	24年度	25年度 1Q	前年 同期比
営業収益	9,681	2,494	+135
うち買物手数料	2,578	673	+56
ファイナンス	3,260	849	+49
うちSMBCCF	1,566	407	+23
信販・収納代行	817	210	+5
信用保証収益	832	219	+13
営業費用	▲9,824	▲2,268	▲165
うち貸倒費用	▲1,218	▲361	△42
うちSMBCCF	▲638	▲213	△36
利息返還費用	▲1,415	-	-
債務保証費用	▲81	▲19	▲6
経常利益	▲786	255	+23
うち営業外収益	61	39	+19
営業外費用	▲704	▲9	△33
親会社株主純利益	▲643	322	▲298
特殊要因影響除く*1	759	322	+167
不良債権比率*2	10.11%	10.63%	
利息返還損失引当年数*2	10.4年	13.1年	

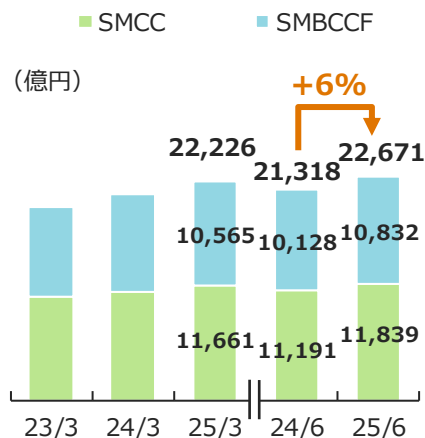
買物取扱高



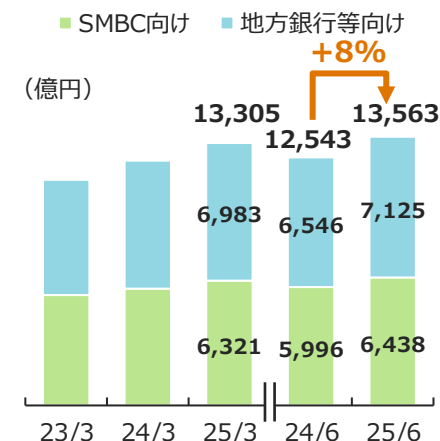
会員数



ファイナンス残高*3



保証残高*2



*1 過払債務の抜本的引当、FE Creditのれん減損、SMBCCFとの合併に係る抱合せ株式消滅差益を除いた数字

*2 SMBCCFのみ *3 SMCCとビット再編影響を遡及反映

SMBC GROUP REPORT 2025 (統合報告書)

経営陣からのメッセージや、従業員へのインタビューをピックアップした特設サイトを公開
本編には、社会的価値創造や、経営基盤の格段の強化に向けた継続的な取組も掲載

<https://www.smfg.co.jp/gr2025/>



MESSAGE FROM GROUP CEO

混沌を突き抜け、 したたかに進む

三井住友フィナンシャルグループ
取締役 執行役社長 グループCEO
中島 達

従業員インタビュー

外部パートナーとの連携を通じて「Olive」の利便性を向上

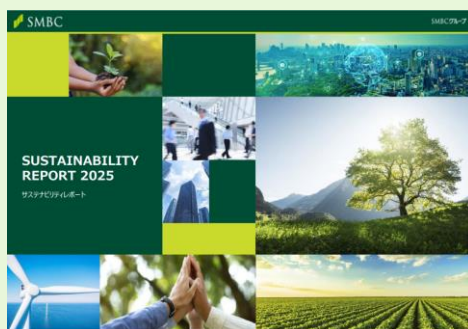
お客さまとともに発展し、日本の再成長に貢献

「3つの」を実践し、マーケットトレンドを捉えた収益拡大に貢献する

サステナビリティレポート

<https://www.smfg.co.jp/sustainability/report/backnumber/>

気候変動、自然資本、人権、さらにSMBCグループの競争力の源泉である人的資本に関する取組を、一冊にまとめて開示



エグゼクティブサマリー

経営戦略、リスク管理、ガバナンス体制、指標と目標に関する要約。

指標と目標

財務パフォーマンス、環境・社会・ガバナンス (ESG) に関する主要な指標と目標の推移。

本資料における計数、表記の定義

本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」、ならびに、環境、社会およびガバナンスにかかる当社グループのサステナビリティに関連する活動に関する記述（「サステナビリティに関する記述」）が含まれております。

多くの場合、これらの記述には、当社グループの将来に関する事項を表す「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績や結果を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績や結果は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」および「サステナビリティに関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績や結果に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有する有価証券の時価の下落、不良債権残高および与信関係費用の増加、当社グループの国内外におけるビジネス戦略が奏功しないリスク、提携・出資・買収および買収後の経営統合が奏功しないリスク等です。こうしたリスクおよび不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」および「サステナビリティに関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」または「サステナビリティに関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。また、「サステナビリティに関する記述」における、当社グループのサステナビリティに関連する取組については、当社グループのリスク管理およびその他の投融資等の目的を推進しそれらに対応することを目指す、当社グループが独自に決定した方針と方法に基づき行われ、また個々の決定は各法域において適用される法規制に基づき、それに従って行われます。

当社グループの財政状態および経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものを参照ください。

為替レート（月末TTM）

	24/6末	25/3末	25/6末
1ドル	161.03円	149.53円	144.81円
1ユーロ	172.29円	162.05円	169.67円

※資本・リスクアセットの開示は2025年8月14日を予定しております。

SMFG	三井住友フィナンシャルグループ (持株会社)
SMBC	三井住友銀行
SMBC信託	SMBC信託銀行
SMFL	三井住友ファイナンス&リース
SMBC日興	SMBC日興証券
SMCC	三井住友カード
SMBCCF	SMBCコンシューマーファイナンス
SMDAM	三井住友DSアセットマネジメント
SMBCAC	SMBC Aviation Capital
SMICC	SMFG India Credit Company
主要現地法人	SMBCバンクインターナショナル、 SMBCバンクEU、三井住友銀行（中国）
連結	三井住友フィナンシャルグループ連結
BC単体	三井住友銀行単体
経費（BC単体）	臨時処理分を除く
業務純益	一般貸倒引当金繰入前
親会社株主純利益	親会社株主に帰属する当期純利益
リテール事業部門（RT）	国内の個人向けビジネス
ホールセール事業部門（WS）	国内の法人向けビジネス
グローバル事業部門（GB）	海外ビジネス
市場事業部門（GM）	市場関連ビジネス